

市長と語る タウンミーティング  
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年9月8日 午後2時～3時33分  
会 場 南台二丁目集会所（南台二丁目自治会）  
天 気 晴れ

参加者 38人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

◆3. 11で感じたことは、水が止まった時にどうなるのか。トイレがどうなるのかを一番恐れている。市として仮設トイレをどの位持っているのか。マンションに住んでいるので水が止まると水洗トイレが使用できなくなる。

☆どの位の災害になるかにもよるが、水が出ないだけならよいが、最悪下水道がダメになったら使用できない。現在、震度6弱の想定で1日経った後に市内20か所の避難所で生活する人の想定は、11, 363人です。市では、その方たち50人に1個で計算をして、仮設トイレを250基程度備えています。ただし、この仮設トイレは、避難所での使用のため。自宅やマンションの方に対しては、クローバ公園にマンホールトイレが4基あります。

◆トイレの組み立て訓練はしているが、マンホールトイレは下水道を利用するものか。

☆下水道とは直結していません。それ専用の管が掘ってあり、下流で汲み取るようになっていて。現在、市内の水道を耐震性のものに交換しているが、いつ災害が発生するかはわからないので、それまでに間に合うかはわからない。一番恐れていることが、火災で、水道管が壊れてしまえば、消防車が来ても水を出すことができず消火作業はできない。

トイレについては、水と食料とセットで考え、自助の意識を持って備えてほしい。ダンボール式のトイレなどが安く売っている。

◆自主防災組織の稼働率は、どのような活動内容をしたら活動率に加えられるのか。また、水道管の耐震化は、いつ頃になると全て完了するのか。

☆組織自体がないもの、名前だけで訓練をしたことがないもの、備蓄装備があるのかどうかや機能しているのかなどを基準にしている。水道管の耐震化の関係は、後ほど調べてご連絡します。

◆食糧などの備蓄品を地区の人がどこにあるのか分からず使わなければ意味がない。市で、パンフレットを作成し、食糧や水がどこにあるのかなどを市民に分かりやすくしてほしい。

☆いままでも防災用のマップを作成したりしたが、より分かりやすいものを作成したい。12月2日の防災訓練では、各自治会・町会で避難所に行ってもらい防災倉庫の中身を見て何があるのかなどを確認してほしい。食糧については、7

2時間、3日間として、1日2食で想定し1日分が市、1日分が県、そしてもう1日分を各家庭で用意してほしい。各家庭でもお米が無くなる前に買い足して常に一定量があるようにしてほしい。水やトイレについても備えて、3日間をしのいでほしい。その間に他県などから救援が来ることとなる。

◆緑道の管理について、犬の糞をどうにかしてほしい。泉佐野市のようにペット税のようなものを徴収して犬の糞対策をしてほしい。

☆本来は、ペットを飼う人のモラルの問題で、それが大切であるのに守られていない。緑道はペットを入れてはいけない看板があるのに、犬の糞の持ち帰りの看板があり矛盾もあるので改善したい。

◆緑道の草を刈って管理してくれるなら土地を自由に利用してもよいと言われて使用しているが、公道の土地を勝手に使っている人がある。それなら糞をするのも自由だと言う人がある。市には委託されて土地を使用している旨の看板を設置してほしいと要望したが1年経っても設置してもらえていない。緑道については、柵を設置する案があったが、高齢者が災害時に越えられないとの意見があり、また、木を植える案は不審者が出るとの意見があり今の形となった。大井側は掃除をするボランティアの人があるが、上福岡側にもそのようなボランティア組織がないので必要ではないか。

☆看板については、すぐに確認し連絡します。

◆南台の学区の問題について。合併時、長男が1年生になる時は学区を選べたが、次の子の学区は亀久保小が近いのに駒西小と言われている。周りの子は亀久保小に行っている子が多い。

☆合併時には経過措置的に上の子が行っている学校に入ることができた。南台2丁目と鶴ヶ舞1丁目は入り組んでいるので、そのような問題が起きやすい。現在も、区域外就学という制度もあり、川越市や富士見市の子も市内の学校に来ているので、教育委員会と話しをしてみます。

◆隣同市で亀久保小と駒西小に分かれているところもある。

☆通学区は道などで分かれてしまう。学区の選択を自由にしてしまうと、設備の良い方に希望が多かったりしてしまうなどの問題がある。また、指定校変更制度があるが、部活で希望してもクラス編成の枠の問題でくじ引きで行けないケースもある。学区については、基本的には線引きしないものですが、教育委員会に話をしてみます。

◆兄弟がその学校に行っていないと下の子が行けないことは初めて知った。

◆南台では32人が亀久保小に行っている。

◆住所地が同じで、隣同市で亀久保小と駒西小に分かれているが、今から変更できるのか。

☆合併時に学区の線引きができなかったことが原因かもしれません。特に南台と鶴ヶ舞は入り組んでいたもので、選択できるようにしたのかもしれませんが、しかし、そのようにしたのであれば、ある一定の期間、それが途切れるまで緩和するほうが良いと考えるが、教育委員会と話をしてみます。

- ◆南台のごみを収集する車が、その先の鶴ヶ舞には行かずにUターンしてしまう。非効率ではないか。以前、運転手に聞いた時には、鶴ヶ舞と南台とではゴミを持って行く清掃センターの場所が違うからと言われた。今は1つの清掃センターなのだから見直せるのではないか。

☆確認します。

- ◆12月2日の防災訓練に一般の人も参加できるのか。

☆一般の方に参加してほしい。そして防災倉庫の中身を確認したり、避難所の運営方法を見てほしい。

避難所の話が出たので、どこの会場でも話すことを言いますが、災害はいつ発生するかわからない、昼か夜か、平日か土日か、夏か冬などによって違ってくる。例えば、冬の北風が吹いている夕食時であれば火災が多発します。その時、皆さんは避難所の亀久保小方面が火事で、風向きがこちらであった場合、避難所を目指す考えはやめてほしい。まずは、安全な所に逃げて、自分の身の安全確保をしてほしい。自助部分になります。そして、近所のお婆さんがいなければ、近所の人同士で助けてほしい。そして、落ち着いてから避難所へ行ってほしい。また、皆さんは、自宅で被災することを想定しているのではないのでしょうか。しかし、災害発生時に買い物に行っているかもしれません。そこでは、まずは安全な場所に避難し、まずは自分の命を守ることをしてほしい。それから皆を助けることをしてほしい。

- ◆避難所が駒西小から亀久保小に変更になったことを知らない人が多いので周知してほしい。

☆概要版を全戸配布していますが、今度実施する防災訓練で避難所がどこであるかの確認をしてほしい。

- ◆以前は、電柱に避難場所の表示があったが。

☆現在もあります。皆さんにはシェイクアウト訓練（※印）を実施してほしい。これは短時間で、危険からの退避を最低1分程度で実施するもの。

一番大切なことは、災害に対する意識を高めてもらうこと。そのために、災害に強いまちづくりをテーマにタウンミーティングをしています。皆さんには、物心両面で備えをしてほしい。市でも備えはしますが予算などの限界があります。

- ※ シェイクアウト訓練とは、2008年にアメリカで始まった新しい形の防災訓練です。

訓練方法は、指定された日時に一斉に地震から身を守るための3つの安全行動を約1分間行っていただくもので、個人・家庭・地域・職場・学校・外出先などで手軽に実施可能です。

3つの安全行動：①ドロップ⇒姿勢を低く、②カバー⇒頭を守って、③ホールド・オン⇒揺れが収まるまでじっとして。

- ◆現在、福島県から避難している人はいるのかどうか。

☆被災地から市内へは170名ほどの方が避難しています。